



沼の棚田



あらぎ島



# 第19回 全国棚田(千枚田)サミット 和歌山県 有田川町開催

開催テーマ

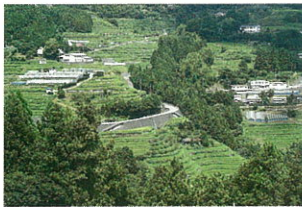
## 人、まち、棚田 とともに未来へ

～伝えよう! まもる心・うけ継ごう! 豊かな恵み～

平成25年

11/8(金) → 9(土)

# 有田川町の棚田



## 沼の棚田

標高869mの堂鳴海山(どうなるみやま)を背景に、沼地区の南向き斜面に開けた棚田。約250年前(江戸時代 享保年間)、当時の庄屋 沼 外記右衛門(げきえもん)が、水路の分水を考案して作った溝(水路)が、現在も水を供給しています。



## あらぎ島

江戸時代初期 明暦元年(1655)に山保田組の初代大庄屋であった笠松左太夫(かさまつさたゆう)によって開かれた水田。開拓当時からうけ継がれた扇形に広がる棚田の景観が眺望できます。平成8年3月12日…第4回「美しい日本のむら景観コンテスト」農林水産大臣賞受賞。平成11年7月26日…日本の棚田百選に選ばれる。

# 有田川町のご案内

## 生石高原



標高870mの生石高原は、360度の眺望と四季折々の草花に彩られ、特に秋のススキは有名。ハイキングやキャンプなどに絶好のレクリエーション地です。サミット開催の頃は、ススキの見頃を迎える時期となります。

## みかんの段々畑



有田川町は全国ブランド「有田みかん」の主要産地。約430年前から栽培に取り組んでいます。その特徴は適度な酸味と甘味。サミット当日は、もぎたて新鮮なみかんをご賞味いただけます。

## ぶどう山椒



現在和歌山県の山椒は、日本一の収穫量を誇り全国の約80%を占めます。なかでも有田川町の清水地域は栽培の中心地として知られています。実がぶどうの房のようなことから「ぶどう山椒」は、大粒で香りも強く品質が特に良いといわれています。

## 保田紙



紀州徳川初代藩主・徳川頼宣公の命により興された保田紙。和傘やうちわに用いられるようになり、大正、昭和初期に生産の最盛期を迎えましたが、時代とともに衰退し、昭和40年代には廃絶。しかし、昭和54年に復興し、現在は体験交流工房「わらし」で体験できます。

## 和歌山県有田川町への交通アクセス

JRきのくに線「藤並駅」下車 阪和自動車道 有田IC 下車



## 和歌山市内から有田川町への交通アクセス

阪和自動車道 有田IC 下車 沼の棚田まで約30km(50分)  
あらぎ島まで約33km(50分)



お問い合わせ先

第19回全国棚田(千枚田)サミット実行委員会事務局 (有田川町清水行政局 産業振興室 内)  
〒643-0521 和歌山県有田郡有田川町清水387-1 TEL.0737-52-2111 FAX.0737-25-9005